

沖縄県立図書館評価指標に基づく図書館評価

令和2年3月23日
沖縄県立図書館協議会

[評価]

平成30年度の図書館運営について、基本指標及び個別指標ともに目標を達成し良好に運営がされている。

現在、沖縄県では外国人の観光客が増え、また、様々な業種でも外国籍の方が多く活躍するなか、図書館を利用する方も増えることが考えられるため、外国籍の方が安心して利用できる対応の検討が必要である。

また、来館者増に伴い貸出冊数も増加しているが、利用者貸出状況における分類別や年齢別等について旧館との比較検証・分析を行い今後の効果的な図書館運営に反映させるよう努めてもらいたい。

県立図書館で借りた資料を近くの図書館で返却する遠隔地返却サービスを宮古・八重山・北部（名護市）及び中部地区（沖縄市）で実施されているが、今後は南部地区でも可能となるようにサービスの拡充に努めてもらいたい。

一括貸出の取組は非常にすばらしい取組と考えている。現在は図書館のホームページでの告知が主となっているが、今後はより一層利用者幅を広げるために学童や沖縄少年院及び沖縄刑務所などへも積極的にPRしてもらいたい。
更に、新館移転に伴い図書館のウェブサイトもリニューアルしていることから、今後も積極的に図書館活動の情報を発信して利用促進に繋げてもらいたい。

障がい者関連法が改正され、今後、更に障がい者サービスの充実が求められるが、県立図書館には点字図書やカウンターでの手話対応に努めてもらうとともに、大活字本の購入など市町村立図書館のバックアップをはじめ、新たなサービスは積極的に取り入れてもらえるようにして欲しい。

ブラジルやハワイの移民関係資料等郷土資料の収集に関して活動の場を積極的に広げているが、郷土資料は収集だけでなく、それらを県民に提供するため閲覧や展示等にも努めてもらいたい。

図書館評価の項目について、「課題解決型図書館」というのは県民の課題をどう解決できたかが指標となるが、現在の指標では見えてこない。
図書館と学校との連携は重要だと考えており、他県ではホームページに「学校支援」の項目を設けている図書館もあって、学校連携に係る情報発信を充実させ、図書館評価項目に加えることも検討して欲しい。
また、項目には数値的なものが多く評価するうえで、利用者アンケートを行いその結果を踏まえた質的な評価項目も加えるなど工夫が必要である。

[項目別達成度評価]

1 基本指標

番号	提言事項	具体的な指標	評価	基本方針評価	
					評価
1	県民の知識要求に対応できるような確かな資料の収集・整理・保存に努め、その利用促進を図る。	・ 入館者数	5	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新館は路線バスやモノレールなどの公共交通が結節する利便性が高い場所に立地していること、多彩なイベントを実施したことにより入館者が増加した ・ 開館から3月末までの1日平均入館者数は2,836人、1日平均貸出冊数は1,966冊となっています。 ・ 平成29年度の1日平均入館者数1,184人、1日平均貸出冊数は1,205冊であったことから、前年度比1日平均入館者数は約2.4倍、1日平均貸出冊数は約1.6倍となっています。
2		・ 蔵書冊数	3		
3		・ 貸出冊数	5		
4		・ レファレンス件数	5		

2 個別指標

(1) 広域型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	WEBサイトの充実	ア	レファレンス事例の発信	・ レファレンス事例のデータベースへの掲載件数	4	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度は「沖縄県系移民1世ルーツ調査が地方創世レファレンス大賞における文部科学大臣賞を受賞し、5年連続の国立国会図書館レファレンス協同データベース御礼状の受領など図書館の活動が評価された 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動図書館の貸出冊数では目標値を下回ったが、2つの努力点ともに目標を達成できた。 ・ HPやTwitterで利用案内や各種イベント情報などこまめに情報の発信や更新等に努めたことからアクセス件数が伸びたと考えられる。今後は様々な情報を発信し図書館の利用促進に繋げていきたい。
			高度なアクセシビリティの確保（利便性の確保）	・ 沖縄県立図書館HPアクセス件数及びTwitterフォロワー件数	4				
②	市町村立図書館を通じたサービスの提供	ア	市町村立図書館への資料配送及び市町村立図書館間の相互貸借を支援する物流システムの構築	・ 市町村巡回車運搬冊数(取扱い冊数)	5	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30年度から巡回業務を外部委託にし、これまで隔週だった運搬を毎週実施としたことが取扱冊数の増につながった。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村巡回運搬業務を外部委託したことに伴い隔週から毎週実施にしたこと、病院等新たに利用施設も増やしたことが取扱冊数の増につながった。 ・ 学校図書館司書研修会等関係

		エ	離島や遠隔地の市町村立図書館との共同事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 一括貸出冊数 移動図書館貸出冊数（開催回数） 	5 2	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館司書研修会等で継続的に子供の読書推進や一括貸出制度の広報をしたところ、各学校や公民館、地域文庫等従前からの利用団体による制度の利用が活発になった。子どもの居場所づくり団体や来館が困難な沖縄少年院等との連携も貸出を行ったため、増加へつながった。 移動図書館は、目標(22回)より回数を増やし実施したが、移動図書館と併せて実施するイベント数の減などによって来館者数が減少し、貸出冊数の目標値を下回った。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 機関を通して制度の周知を図ったことから利用団体の増にも繋がった。 移動図書館は回数を増やしたが貸出冊数の増には繋がらなかったため、今後は開催市町村を通して周知に努めるとともに移動図書館と併せて実施するイベントの充実も図りながら利用者増に繋げていきたい。
--	--	---	-------------------------	---	------------	---	-----	---

(2)課題解決型図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価	基本方向別評価	
							評価	評価
①	市町村立図書館及び図書館未設置町村への支援	ア	市町村立図書館の職員を対象にした研修計画の策定と実施	・市町村立図書館職員を対象にした研修会開催回数	4	・目標の8回を開催することができた。今後は回数増の検討を含め、より充実した研修内容となるよう参加者アンケートを基に改善を図り、地域の課題について現状分析を行いながら、市町村立図書館の意見等も踏まえ検討を行っていききたい。	4.0	
②	地域活性化へ向けた支援活動の充実	ア	子ども読書活動推進及び文字・活字文化の振興に関する市町村立図書館への情報提供と連携事業の実施	・「子ども読書活動推進室」の利用回数	3	・閉館後も毎月実施している「世界の絵本読み聞かせ会」や各読み聞かせ団体によるイベント等の機会を通して「子ども読書活動推進室」のPRを図るとともに、近隣の関連団体等へも呼びかけ、今後はこれまで活用が少なかった団体等へも利用を推進するよう働きかけることとした。	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に掲げた研修会の回数や各種行事への参加人数等に保る目標は概ね達成できた。 ・今後も市町村職員を対象とする研修会や図書館協会等関係と連携して実施するセミナー等の開催については、受講者の要望等を踏まえ内容等の充実を図っていききたい。
				・沖縄県読書推進運動協議会との連携行事への参加人数	3	・子ども読書指導員との連携を図りながら、各指導員が活動する地域において「子ども読書研究室」のPR及び活用を含め県立図書館で実施する各種イベント等への参加も促している。		
		コ	沖縄県図書館協会等との連携・協力	・沖縄県図書館協会主催講演会及び研修会への参加人数	5	・講演会1回（テーマ：図書館事業を進展させる制度）、研修会2回（主な内容：図書館サービス）を実施し参加者からは「図書館の役割について理解できた」等（評価）の意見があった。今後はより内容を充実させていくとともに、図書館関係者との連携を図り、地域社会の発展にも繋がる研修会になるよう取組んでいきたい。	3.7	3.9

(3)琉球・沖縄関係資料の中核的図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価	基本方向別評価	
							評価	評価
①	郷土資料コレクションの形成	-	-	・郷土資料の受入冊数	5	・新館の開館に伴いリニューアルした図書館ホームページを活用し、新刊資料等の情報収集及び寄贈の呼びかけを継続的に行うことにより、資料収集の目標値を達成することができた。	5.0	
②	郷土文化の保存と次世代への継承	ウ	デジタル化郷土資料の公開と文化事業の実施	・デジタル郷土資料の公開点数	3	・新館移転にかかる対応があり、目標値の1,306点には届かなかったが、資料の貴重性等を考慮し、1,289点を公開することができた。今後も引き続き公開点数の増加に努めていく。	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料の収集については、従来どおり小中高等学校等団体が発行する記念誌の収集に取り組むとともに、ブラジル沖縄県人会と連携しサンパウロにて県人移民資料の調査及び収集を行った。 また、大谷大学図書所蔵「北里録音帳」の音声資料の収集を行うなどより活動範囲を広げて取り組んでいく。 ・貴重資料の修復及び複製本の作成については概ね目標が達成できた。今後も引き続き計画的に必要な措置ができるよう予算確保に努めていく。
				イ	貴重資料保存計画（状態調査・修復・保存措置・複製）の策定	・修復点数		
				・複製本作成冊数	4	・『中山伝信録』等の複製本を作成し、目標値を達成することができた。今後も計画的に複製本作成を進め、公開に供していく。		

(4) 電子図書館

番号	努力点	区分	推進項目	具体的な指標	評価	努力点別評価		基本方向別評価	
							評価		評価
①	付加価値の高い情報発信	ア	デジタルコンテンツの作成・発信	・デジタル郷土資料の解説点数	3	・新館移転にかかる対応があり、目標値の636点には届かなかったが、資料の貴重性等を考慮し、625点を公開することができた。今後も引き続き解説点数の増加をはかり付加価値増に努めていく。	3.0	・2つの努力点とも概ね目標を達成できており、新館開館に伴い図書館HPへのアクセス数も増えており今後も機能の充実に努めていきたい。	3.0
②	ネットワークのセンター的機能構築の推進	ア	沖縄県図書館総合目録システムの機能充実と参加館の拡大	・総合目録システム参加館数	3	H30年度は八重瀬町が参加したことにより、当該機能がより拡充できた。	3.0	・今後も順次総合目録システムへの参加を促していきたい。	

総合評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・基本指標については、新館開館による来館者増に伴い各指標とも目標が達成できた。今後も利用者ニーズの把握に努め、県内の中核図書館としての役割を果たしていくとともに、これまで図書館を利用しなかった世代への利用促進も積極的に取り組んでいく必要がある。 ・離島や図書館未設置町村などに対し、移動図書館や協力貸出、一括貸出を活用した読書機会の提供を図るとともに、読み聞かせやイベント等も併せて実施するなかで読書活動の普及啓発を図っていきたい。また、今後は学校含め支援を必要とする施設との連携も積極的に行う。 ・今後は関係機関、他団体等との連携を充実させ、館外サービスや館内イベントの充実に繋げ県立図書館としての機能、役割について広く県民に周知させたい。 ・郷土資料収集については、移民資料など収集活動の幅を広げるとともに収集方法の工夫等も併せてを行う。 	4.0